

川崎重工グループ 安全・衛生・健康経営方針

1. 基本的な考え方

川崎重工グループは「人間尊重」と「健康第一」を旨とし、安全と健康を最優先する職場風土を構築します。また、安全衛生健康の関係法令を遵守し、安全・衛生・健康の配慮が行き届いた職場を提供します。本方針の下、当社グループで働く全ての人々・会社・労働組合・健康保険組合等関係者が一体となって安全・衛生・健康を保持、増進し、心身ともに健康に働くことのできる、安全で快適な職場環境を作り上げることで、グループミッション「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」の実現を下支えします。

2. 安全・衛生・健康経営方針

(1) 安全；安全安心な労働環境の提供

- 職場の危険性・有害性リスクを低減し、労働災害、健康障害を防止します。
- 適切な安全衛生管理体制を構築し、常にPDCAサイクルを回して管理レベルを向上させます。
- 風通しのよい職場づくりを推進するとともに規律のある職場風土を醸成します。

(2) 衛生；職業性疾病・メンタル不調の予防

- 作業環境管理・作業管理・健康管理を徹底し、職業性疾病を予防します。
- メンタルヘルスケア・職場のストレス低減に取り組み、メンタルヘルス不調を予防します。
- 適切な労働時間管理・面接指導・指導に基づく措置を通じて、健康障害を予防します。

(3) 健康；健康増進・豊かな生活の実現

- 健康施策を積極的に展開するとともに個々人の自律的な健康増進活動を支援し、心と身体の健康づくりを推進します。
- 健康診断を通じて、疾病の早期発見・適切な事後措置を行うとともに、健診結果を活用し、健康保持増進に取り組みます。
- 各種勤務・休暇制度の活用を促進し、仕事と生活の調和がとれた生活の実現を支援します。

以上